

特別支援教育補助員等研修会を受講して

今年の6月にかねえ主事と出会い、特別支援を要する子どもの支援方法や助言を頂きました。今回も、講話をお聞きしながら自分の学級の子どもと接した場面を思い出し、我が身を振り返る思いでした。特に印象に残っている言葉が、「子どもに成功体験をさせる」ことです。良かれと思ってやっている子どもの行動を、私は大人の理屈で指導していました。だが、本当は「〇〇さんは、～とあって、～してくれたんですね。」という言葉が掛けていけばよかったですと反省しました。分かりやすい説明や実践をご紹介頂いたお陰で、今度からは、ぜひ「成功体験」だと子どもが感じられるような声かけをしていきたいです。また、お会いしてご指導と助言を頂きたいです。お忙しい中、ご講話に参加させて頂き、ありがとうございました。(外間)

今週の主な予定

日	事柄
15日(火)	指導講師検討会 (～17日まで)
17日(水)	所外研修
18日(金)	ミーティング 所長講話 研究主任研修会

来週の主な予定

日	事柄
23日(水)	職務会
25日(金)	ミーティング 小学校教育課程研

金城研究主事の講話を聞きながら、ある生徒のことを考えていました。小学校低学年の時に ADHD と診断された生徒のことです。彼は、部活動と学習を両立させようと努力するものの集中が長続きせず、学習が遅れがちでした。諸活動の際、周りに指示されてもなかなか動こうとせず、彼を理解できないという声も聞こえてきました。金城研究主事が紹介してくださった「問題行動の考え方～冰山モデル」を聞いて、ハッとしました。それは、以下の通りでした。

「問題行動の考え方～冰山モデル」とは・・・

周りから見た本人の状況	でも実は、本人の中では・・・
① 怠けているように見える	→自分が何をやる事を要求されているのか分からない
② 反抗的な態度に見える	→状況や人の気持ちを読むことが難しい
③ 指示しないと行動しない	→やるべき事の優先順位を考えることが難しい

彼が困っていることを、このように理論立てて考えたことは、初めてでした。「できない」「分からない」という不安や混乱、ストレスを抱えながら彼は学校生活を送っているという現実を教師自身が知ること、そして周りにも彼の困っていることを理解してもらうこと、さらに彼をサポートする体制を整えることが、彼の成長に欠かせないことだということ、再認識することができました。

それと同時に、自分自身を振り返りました。あの時、彼や保護者に対してとった私の対応は、十分だったのか・・・この講義を通して、発達障がいを抱える子が健やかに成長するためには、周りの理解と協力が必須だということ、再認識することができました。また、一人一人の成長をサポートできる教師になるためには、教科指導のみならず、発達障がいの知識も必要だということ、再確認しました。(垣花)

金城かなえ先生、先日は特別支援教育に関するたくさんのお話が聞け、児童理解のもと、思いやりの気持ちを持って、支援していく大切さを学びました。ありがとうございました。中でも、子どもの持つ良さを引き出し、伸ばしていくための教師の向き合い方について考えさせられました。「適切な支援の量」であるために、サポートが必要な時のサインを子どもと一緒に決めておくことや「支援の善し悪し」を子どもの変化・変容で評価していくことを早速活かしていきたいと思いました。(饒平名)

研修会に参加して、まず、講師の先生の笑顔とやわらかな話し方が印象的でした。研修内容では、子どもの支援のポイント「子どもの特性を知り支援を考える」「支援は子どもの立場で考え、行動の意味を考え、減らしていく」とのお話がありましたが、担任だけでなく、補助員の先生方やまわりの職員など多くの人の目で子どもの姿を捉え、共通理解することが適切な支援に繋がるのだと思いました。また、子どもの行動の捉え方(ABC分析)や高機能自閉症のこどもへの言葉の配慮という話がありましたが、支援を必要とする子だけでなく、クラスの一人一人子どもの姿を捉える際にも必要な視点だと感じました。この研修で学んだABC分析法を現場で活かしていきたいです。(仲本)

支援していくためには、気になる子どもの特性を知った上で支援を考え、成功体験を重ねていくことが大切であること。どこでつまづいているのか、目に見えないつまづきの背景をみつけることで具体的な手立てがわかっていくことがわかりました。このことは、特別支援を要する子だけでなく他の子に対して同じだと感じました。(仲村)

※研修会の感想、ありがとうございました。

同じ事を伝えるって難しいですね。「200文字程度で、感想」とのお題だったのですが、文字数も感想も様々です。だからこそ楽しいですね。個性的な第39期教育研究員の皆さん、これからも互いに学び合いを深めていきましょう。